

1/6 全国コンテストで優秀賞を受賞



(左から) 日野町長、岩下真理華さん(1年生)、大分保護観察所 青木所長、玖珠保護区保護司会 菅会長

このえ緑陽中学校の岩下真理華さんが、第71回“社会を明るくする運動”作文コンテスト中央推進委員会で優秀賞(日本更生保護女性連盟会長賞・中学生の部)を受賞され、法務省大分保護観察所長から賞状等が伝達されました。

受賞された岩下真理華さんの作文「あたたかい社会にするためには」は、広報このえ令和3年12月号に掲載していますのでご覧ください

1/21 ご寄贈ありがとうございます



(左から) 九重ライオンズクラブ 会長 佐藤茂喜さん、生徒会長 佐藤亜樹さん(2年生)

九重ライオンズクラブがこのえ緑陽中学校へ、全校生徒分のマスク212箱を寄贈されました。今回の寄贈は、九重ライオンズクラブが結成60周年を記念して行われた、社会貢献活動の一つです。生徒会長の佐藤さんは「心温まるお心遣いをありがとうございます。感染対策をして元気な学校生活を送りたいと思います」とお礼を述べられました。

1/8 2年ぶりの消防団特別点検



機械器具点検では車両の赤色灯や警鐘の点検が行われました(河川工事中のため放水点検については未実施)

九重町消防団特別点検が栗野河原運動公園で行われ、団員265名が参加しました。新型コロナ感染拡大防止のため2年ぶりの開催となった特別点検では、人員・服装点検や訓練点検(小隊訓練、操法訓練)等が行われました。



1/29 ドライブインシアターin野上



野上地区グラウンド(旧野上中学校グラウンド)に設置された特設スクリーンにて上映されました

九重町地域おこし協力隊の豊田大志朗さんと野上祇園実行委員会による、野上地区の小学生以下の子どもを対象としたドライブインシアターが行われました。子どもたちに楽しんでもらえるよう映画「怪盗グルーの月泥棒」が上映され、12家族が参加しました。参加された方からは「珍しい体験を子どもたちとすることができ楽しかったです」との感想が聞かれました。

INTERVIEW



大分県玖珠警察署 生活安全刑事課 後藤大輔課長

玖珠警察署の取組について

特殊詐欺被害に遭わないためには、一人一人が特殊詐欺の現状を知り、「自分も被害に遭うかもしれない」と危機感を持つことがとても重要です。

また、騙されている人がいたとしても、犯人の手にお金が渡る前に被害者に声を掛けてあげることによって被害は未然に防げます。

玖珠警察署では、金融機関やコンビニ店舗とも協力して、特殊詐欺被害防止のための活動を推進し、玖珠郡内における特殊詐欺被害ゼロを目指します。



お金を取り返すのは大変! 未然に防ぐために



1

知らない電話番号からの電話には出ないようにする

▶留守番電話機能を使って、知らない番号からの電話には直接出ないように(犯人とは直接会話をしない)しましょう。



九重町では自動で通話を録音する「特殊詐欺被害防止機能付き電話機」を今後購入・設置される方へ補助をしています。詳しくは、まちの事業紹介(11ページ)をご覧ください。九重町役場 危機管理情報推進課(☎76-3801)までお問い合わせください。
◀九重町HP(まちの事業紹介)



2

家族で合言葉を決めましょう

▶電話をかけた時は「(ペットの名前)は元気？」など、決めておいた合言葉から会話を始めるようにするなど、事前に家族で話をしておきましょう。



3

必ず元の電話番号に電話して確認する

▶「電話番号が変わった」と言われたら電話を一度切り、以前から知っている電話番号にかけて確認しましょう。



4

お金を要求されたらまずは疑って、家族や警察に相談を

▶お金を取り返すのは大変です。不審な電話やメール、身に覚えのない請求など、まずは家族や玖珠警察署(☎72-2131)に相談して下さい。